

本学庄原キャンパスで県北在住地域おこし協力隊隊員対象のワークショップ開催

1 要旨

県立広島大学庄原キャンパスで本学主催（後援 広島県）の県北在住の地域おこし協力隊隊員を対象としたワークショップを 11 月 1 日（火）午後を開催します。島根県中山間地域研究センターの研究者，中国新聞社記者，本学教員をワークショップのサポーターとして，隊員の抱える問題を共有し，解決策を探ります。ワークショップを通じて隊員のネットワーク構築もはかります。

2 実施概要

(1) 日 程 平成 28 年 11 月 1 日（火）

回	時 間	内 容
1	14:00～15:50	オリエンテーション・テーマ別グループワーク ※頂いたエントリーシートの内容に基づき，グループを作ります。
2	16:00～17:00	サロンタイム (ワークショップでの話し合いの内容の共有と意見交換)

(2) 場 所 県立広島大学庄原キャンパス 3 2 0 1 講義室

(3) 参加者 県北在住の地域おこし協力隊隊員（定員 30 名）

*詳細はこちらでご覧いただけます。

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/kouzas28-20161101.html>

3 本件の背景

現在，広島県でも多くの地域おこし協力隊員が活躍しています。しかしながら，活動や現地や自治体職員との関係などにおいて問題を抱えることもあります。加えて，隊員間の情報交換を行うための場も十分に構築されているとはいえません。彼らが抱えている問題，ネットワークの不備を解決することが中山間地域の振興のためには必要であり，抱えている課題を解決するための場として，具体的な課題の洗い出し，解決のためのディスカッション，大学教員との協働解決を実現するために，ワークショップを開催します。

4 今後の展開

地域おこし協力隊隊員との関係構築については雇用する側の自治体関係者，地元住民からも望まれており，今後は，隊員，自治体関係者，地元住民，本学等の専門家が一同に会し，議論する場の設置が望まれています。次年度以降，本学庄原地域連携センターが中心となってこのような場を設置するとともに対象地域を広島県全体に広げ，全県下で隊員が活動しやすい状況づくりに貢献したいと考えています。

また将来的には学生が隊員の活動や問題を学ぶ場としても活用し，学生との協働ができる体制づくりを行います。